

システム事業

重点取組施策

最適なソリューションを提供することで、 社会課題解決に貢献

グループ会社のIDECファクトリーソリューションズ株式会社は、制御技術をコアとした課題解決型のシステムインテグレータとして、IDECの強みであるHMI機器・安全関連機器や安全システムを軸に、ファクトリーオートメーション分野、社会システム分野で多様なシステム事業を展開しています。

医薬品業界をターゲットに、 DX化ソリューションの展開を開始

スマート工場化、監視制御システム(SCADA)を統合したDXのニーズにお応えするIoTソリューションとして、個々の機器のIoT化だけでなく、それらを繋ぐことでさらなる生産性の向上を実現する、製造実行システム(MES)とソリューションの展開を開始しました。

中でも医薬品業界は、グローバルベースでの業界再編が進み、競争力強化のためにDX化への投資を加速しています。特に、日本市場においては、海外メーカーに比べ大きく後れをとっている「製造のデータインテグリティ」への対応が急務となっています。

グローバルスタンダードのGMP(医薬品の製造管理および品質管理の基準)に取り組む上で、MES/SCADAシ



ファクトリーオートメーションシステム

ステムの活用が欠かせず、システムの導入だけにとどまらず、「生産ラインの各製造工程の連携」までを求められており、基幹システム(ERP)との連携も必要です。

これまで培ってきたHMIや制御盤を活用した製造ライン統合制御にプラスして、最新のDXソリューションを提供することで、GMPの課題へのソリューションも展開していきます。



人とロボットが協働する、 新たな社会の到来を見据えた ロボットシステムの提案

生産性向上の施策として、AMRを活用し工場内の搬送工程を自動化するニーズが高まっています。単にモノを搬送するだけでなく、ピッキングや配膳作業も含めて自動化の範囲を広げるための高度なシステム化ニーズが増えているため、AMRに協働ロボットを搭載し、搬送作業プラスアルファの自動化提案を強化しています。

複数台の運行制御、エレベータと連携したシステム構築など安全面でもハードルの高いシステム化を得意としており、特に人手不足で高度自動化技術が必要とする半導体工場、医薬品工場などからの導入相談が増えています。



AMRの活用事例

制御盤業界のDX化の牽引役として 業界をリード

半導体製造装置などの各種産業機械にとって、制御盤は頭脳ともいえる中核部材です。世界的に自動化と電動化需要が高まる一方で、日本の制御盤メーカーは、少子高齢化による人手不足の影響を受け、危機的な状況を迎えつつあります。

DXを活用し、非熟練者でも組み立て作業ができるようなやり方、熟練者の知識を最大限に活かしながら生産性を上げる取り組みが必要とされています。当社は、業界で先駆けて電気設計用3D CADを導入し、設計から生産までをシームレスに繋げ生産効率を大幅に向上させていきます。



担当者の声



卓越したシステム制御技術と安全コンサルティング力で高い信頼を獲得

IDECファクトリーソリューションズ株式会社 営業部 リーダー 田中 順一

私は、AMRや協働ロボットを活用した搬送工程の自動化ソリューションの営業を担当しています。最近では、上位システムのERP、倉庫管理システム(WMS)などの連携を必要とされるご相談も増えてきています。システムが複雑化、高度化し、工場の自動化では安全性と生産性の両立を高いレベルで成り立たせることが成功の鍵となります。

当社の安全コンサルティングも含めたソリューションは、より多くのお客さまから厚い信頼をいただいています。